

2011年

ほっこり通信

2号

ほっこり通信 from Kyoto 発行のお知らせ

何とかして子どもたちを助けたい・・・でも自分ひとりで何ができるというの？個人にできる事なんて限られているじゃない・・・。私たちも、初めは自問自答を繰り返しながら何もできずにいました。そしてただ政府と電力会社の無責任さと無策に腹をたてる毎日でした。でも次第に、同じ日本で、半日もあれば行ける場所で、手を差し出せば届くところに、命の危険にさらされている子どもたちが大勢いて、それを心配するお母さんたちも大勢いるというのに何もしないなんて、ひよっとしたら自分自身も政府や電力会社と対して変わらないのではないかと、そう思えてきました。そんな時に、同じ思いのお母さんたちと出会い、小さな事でも何もしないよりはいいんだ、できることから始めればいいんだ！と思い立ち行動することになりました。

早速、子どもたちへの放射能の影響を心配する福島や茨城のお母さんたちと連絡を取り、私たちにでもできることはないかを尋ねました。お母さんたちからの要望は「避難先の情報が欲しい、現地のくらしの情報が欲しい、そして現地の方からの待っているという言葉が欲しい。みんな避難先で孤立することを一番恐れている。そして情報は紙媒体がいい。インターネットでは使える人が限られてくるし、紙ならどこにでも持ち運べて情報交換がしやすい」というものでした。そこでこうした情報をまとめたフリーペーパー「ほっこり通信 from Kyoto」を発行することになりました。

ほっこり通信編集部

南 見奈子

避難している人へ。

避難しようとしている人へ。

被災地にとどまることを選択している人へ。

「ほっこり通信受付窓口」

hokkori-kyoto@freeml.com

a.plus.mina2@gmail.com



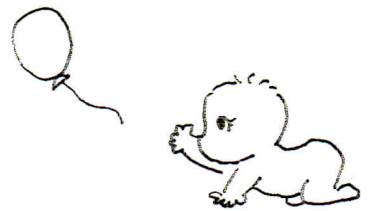
サマーキャンプ in 宇治より(夏休み保養報告 5ページ)

目次

- 2 守田さんからのメッセージ
- 3 ほっこの想い・おすすめサイト & 本
- 4 東日本大震災 被災者受入
- 5 夏休み保養の報告
- 6 住宅支援について - 京にすまう -
- 7 - 京にすまう (続き)・山本留学
- 8 特集 被災はくてもお茶のりいよのま!
- 9 " " " "
- 10 どうしてまうか? 食材選び
- 11 親子菜かど・市民放射能測定所
- 12 京ではたらく
- 13 京大農小畜車展
- 14 京にある支援センター & グループ
- 15 京都に避難されて来た方 & 支援者の集いの場
- 16 編集者プロフィール・編集後記

京都で活躍中のフリーライター
守田敏也さんからのメッセージ

放射線被曝から大切な命を守ろう



こんにちは。みなさんはどこでこの通信を読まれているのでしょうか。福島や茨城など、放射線量が高い所にいるみなさんを思い浮かべながら、この文章を書いています。

私は3月11日から福島原発のウォッチを始め、多くの方に逃げて欲しいと呼びかけてきました。メルトダウンが起こり、放射能が漏れてくると思ったからです。政府は安全宣言を繰り返し、マスコミもそれに倣いましたが、本当に大量の放射能が出てしまいました。

ところが危機をウソで隠すことは、まだ過去のことになっていません。今もあの頃と同じようなウソが繰り返されています。原発は原子炉が壊れ、容易に対処できない状態なのに、もうすぐ「冷温停止だ」と言われ、大量の放射能が撒き散らされ、横浜までストロンチウムが飛んでいるのに、「もうマスクは必要ない」とも言われています。

放射能の危険性もかなり軽く扱われています。福島市では多くの地域の空間線量が毎時0.6マイクロシーベルトを超え、放射線管理区域とかわらないのに、女子駅伝が強行され、中学高校の女子生徒らが走らされてしまいました。政府や行政が進めている除染活動にもウソがあります。除染はそんなに簡単にはできず、森や林が汚染されているところでは、家を除染してもしばらくすれば元に戻ってしまうのに、数年で汚染を大きく減らすと言われていています。除染活動は必ず外部被曝をするし、内部被曝の可能性も高いのに、危険性がきちんと告げられないまま住民が集められ、ボランティア募集も始まっています。

みなさんに伝えたいのは、政府やマスコミは、事故直後から一度も私たちの命や暮らしを真剣に守ろうとしなかったし、今もそうだということです。メルトダウンを安全キャンペーンで覆い隠したように、「放射能は怖くないキャンペーン」を繰り返し、防護を強めるよりも弱めて、政府がやるべき対処や補償額を減らすことばかりを考えています。

この状況を変えるためにはみんなで声を上げ、政府や行政に放射線防護をもっと徹底させることが大切です。同時に放射線値が年間1ミリシーベルトを超えるところでは、妊婦さんやお子さんから避難や移住を進めることをお勧めします。大人の方もできるだけ離れた方が良いでしょう。お年寄りにも被曝の影響があります。可能な方はどうか決断してください。

でも避難は大変なこと。条件が整わない方は次善の策をとってください。週末だけ原発から離れるのも有効です。外出時はマスクをし、食べ物もできるだけ西日本のものを手に入れるようにしましょう。もう8ヶ月も避難や対処をしなかったのだからいまさら遅いと思われる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。10年後を考えましょう。それまでにまだ9年と3ヶ月もあります。この時間をどう過ごすかで私たちの未来が変わります。少しでも被曝から身を守る努力を重ねましょう。みなさんの幸せを祈っています。

守田敏也

もりたとしや 1959年生まれ。同志社大学社会的共通資本研センター客員フェローなどを経て、フリーライターとして活躍中。原子力政策に関しても独自の研究・批判活動を続け、被災地にも度々訪問。除染活動にも関わっている。ブログ「明日に向けて」で情報発信中。

<http://blog.goo.ne.jp/tomorrow.2011>

ここにメッセージを書いてくださった
守田敏也さんと、内部被曝の
専門家の矢野奇克馬さん(琉球大学
名誉教授)の講演会が11月19日に
あります！
(マッパ通信の南もディスクリプションに
参加します!!)

° . * ほっこりの想い * . °

“いのち”と“健康”を守るにはどうすれば良いのか？

確かな答えが見つからないまま、

それでも何らかの決断を迫られている被災地の方々の心中は、

私たち京都に暮らすものにとって察するに余りあるものがあります。

でも、もし何かできるとしたら。

そう考えて私たちがひとつの選択肢として提案したいのが“避難”です。

京都で暮らすために必要な情報を中心に、

放射能に対してどのように対処すればよいのかを考えると

気軽に手にとって参考にさせていただければと、

『ほっこり通信』を発行しました。

そんな私たちの想いが、もしみなさまの決断の一助になれば幸いです。

錦 炎兄

☆ (おすめ本) ☆
 ☆ 今回は2冊に絞りました☆
 ☆ 1号にたくさん紹介して、お初め是非ご参考。 ☆

◎『原発・放射能 子どもが危ない』
 小出裕章 黒部信一 著 (文春新書 2011.9)
 小出先生のあつちきりことながら、黒部先生の医学的知見に目からウロコ! 甲状腺の見つけ方など具体的な対処法が書かれています。

◎『裸のフクシマ』
 たくきよしみつ 著 (講談社 2011.10)
 福島生まれの著者が、福島の中から書いた原発から現在にいたるまでの現地レポート。本音で起こったことを整理して考えることが出来る好著。

もういちど確認

原発事故は収束していません。放射性物質は今も出続けています。

毎時0.6 μSv (マイクロシーベルト) 以上となる場所は放射線管理区域です。

18歳未満の子どもは入ってはいけないと法律で決められています。区域内での飲食も禁止されています。

セシウム137の放出量、約2.71京ベクレル。7月に東電が発表したものの20倍。
(フランス放射線防護原子力安全研究所の見解) ル・モンド紙 10/27

→ 同じ規模の海洋汚染がもう19回も起きているのと同じ。

大気汚染 日本政府の発表の2倍と推計。(ノルウェー大気研究所)

→ もうひとつ同じ規模の原発火災が起きているのと同じ。

◎ ネットで情報を集める

テレビや新聞では得られない情報を、“早く”、“そのままの内容(一次情報)”で知ることができるのがインターネット。今回は必見の5つのサイト+番外編一つのみ挙げました。

◇【子供を守ろう SAVE♥CHILD】 <http://savechild.net/>

地震・原発関連の最新ニュースから、汚染マップ、必見動画など、タイトルどおり子供を守る為に必要な情報が集められています。スイス気象会社(MeteoMedia)による粒子拡散予測あり。

◇【小出裕章(京大助教)非公式まとめ】

<http://hiroakikoide.wordpress.com/>

京都大学原子炉実験所助教・小出裕章先生の事故に関する発言のまとめサイト。今何が起きているのかを知り、これからどうなるのかを考える上で先生の発言は重要。

→ 原子炉で

◇【岩上安身オフィシャルサイト】 <http://iwakamiyasumi.com/>

キーパーソンのインタビューが豊富。全国で行われるシンポジウムや講演会の中継も見れます。

◇【ビデオニュース・ドットコム】 <http://www.videonews.com/>

有料の動画サイトですが、無料のものも多数。福島出身・在住の医療ジャーナリスト、藍原寛子さんの福島レポート必見。(無料です)

◇【OurPlanetTV】 <http://www.ourplanet-tv.org/>

→ 企業からの広告費ももらっていない独立系メディア

番外編: パパにおすすめサイトと本

◇【農家の婿のブログ】 <http://ameblo.jp/noukanomuko/>

福島の農家に嫁いだ(婿入り?) 男性のブログ。マッチョな文体で楽しく読めますが、語られていることは過酷な現実と行政へのするどい批判。是非とも多くのパパに読んでいただきたい。

核戦略のもとで隠されてきた内部被曝の脅威については

広島市の被爆者 6000 人を診た医師、

肥田舜太郎『内部被曝の脅威』

矢ヶ崎克馬『隠された被曝』新日本出版

などで詳しく書かれています。是非参考にしてください。

またインターネットの動画で

名古屋大学名誉教授の沢田昭二先生のインタビューを

(岩上安身×沢田氏) 必見です。

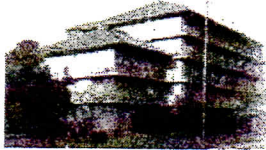
◇ 京都精華大学 山田國廣先生と細川弘明先生

『放射能除染・回復プロジェクト』『放射能除染マニュアル』
<http://entropy.ac/download/yamada.pdf>
 福島で除染活動が継続的に進んでいます。

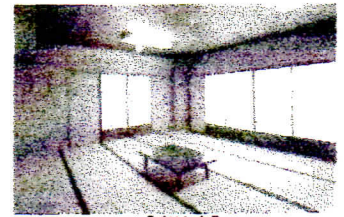
京都でも細川先生による除染報告会がすでに開催されています。→ 皆参加です。編集部

守田さんご参加

③



東日本大震災 被災者受け入れ



▲【宿泊室】

天理教河原町大教会(京都府京都市)は、被災された方を食事付きにて無償で受け入れを致します。本施設は、京都府災害支援対策本部の受け入れ施設に登録されています。

また、天理教河原町大教会の所属施設である信者詰所(奈良県天理市)においても、被災された方を食事付きにて無償で受け入れを致します。

落ち着いた雰囲気の中で、しばらく心と身体を休めて頂けたらと思います。

- 対象 天理教信者以外の方も受け入れ致します
(罹災証明書が必要となります。ない場合はご相談ください)
- 受け入れ数 40世帯(小中学生は、京都市立の小中学校への就学も可能です)
- 部屋 信者宿泊室(10畳から15畳、和室)を提供します
- 風呂トイレ 風呂は大浴場、トイレは各フロア共同です
- 食事 三食とも用意します(食堂は共同で、各部屋での煮炊きはできません)
- 駐車場 有(複数台可)
- 費用負担 宿泊費、食費とも本年12月末日までは無料(それ以降はご相談ください)
- 期間 平成23年12月末日まで
- 交通手段 最寄り駅 京阪「神宮丸太町駅」
- 連絡先 天理教河原町大教会「被災者受け入れ対策室」
〒600-8395 京都府京都市左京区東丸太町1
TEL:075-761-8121、担当者:080-4098-4681
(電話での受付は、午前8時から午後8時まで)
Eメール:ukeire-k@ezweb.ne.jp

受け入れ担当者からの
メッセージ
甲鳥川で水遊びに興じて喜ぶ親子、
洗たく物を外に干せる幸せを
語るおかあさん、子供の笑顔と
見て喜ぶおかあさん...
来て下さった方が笑顔になるのが
何よりうれしいです。

子どもだけでなく避難させたい そう思っているお母さん...

専修寺(せんしゅうじ・浄土宗の一派)でお子さんを受け入れます。

- ◆ 受入数 1~2名(小学生男子希望)
- ◆ 部屋 6畳一部屋
岸野さん、父、母(ともに60代)の3人家族
- ◆ 期間 とりあえず3月末(年度末)まで
- ◆ 連絡先 副住職 岸野 亮哉(きのの りょうさい)
〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町 672
090-8378-6751(何時でも可)
e.mravinsky.1903-88.lpo@ezweb.ne.jp



岸野さんからメッセージ

京都市教育委員会ボランティア講師に登録し、学区内の京都市立岩倉南小学校で総合学習の授業をしています。そのため、学校には知り合いの先生方がいらっしゃいます。長期に子どもを受け入れるのは初めてですが、海外から短期で社会人や学生を受け入れたことがあります。お寺での子ども会も行っており、地域に根ざしたお寺なので、安心して来てください。迷われている方、まずはご連絡ください。

1、1男の子のいる、ほんのり編織メンバーも
岸野さんと同じ学区に住んでいますよ!

子どもだけの避難について、新聞でも取り上げられました!

「単身疎開の児童 学校生全力支援
山台などの親元離れ、山科に」
(2011年7月12日 京都新聞)

京都市山科区にある学校法人
大燈影学園では受け入れ可能な
家庭と保護者から募るなど支援体制を整えているそうです!

(※ 学校法人 大燈影学園
実践的思想家 西田天香によって
大正13年(1924年)に創設された
大燈影塾を前身とし、現在は幼稚園
から高等学校までの一貫した学園で
全人格的教育を実践しています)

▽ 一般家庭でも 避難を受け入れます!

★ 避難を受け入れる一般家庭リスト

(2011.10 現在)

京都のおばちゃん、夏休みに引き続き、
自宅や空き部屋などを無料で提供します。

- ◆ 連絡先: 新日本婦人の会・京都
tel: 075-342-1552(澤田まで)
fax: 075-342-1553
email: sinfujin@mbox.kyoto-inet.or.jp

	住所	部屋数・広さ	台所	受入人数	期間	備考
1	京都市北区	6畳2間	共用	大人2	落ち着き先が 決まるまで	共働きで昼間不在です。
2	京都市北区	8畳	有	大人2・子1	落ち着き先が 決まるまで	3階建てのため階段を静かに。近くに孫がいます。
3	京都市左京区	6畳と8畳	共用	1~3人	1年程度	
4	滋賀県高島市	一軒家	有	12~13人可	1年程度	光熱費のみ要負担
5	京都市西京区	6畳	共用	女性1・子1	要相談	独居女性・母子2人

まだ空いて
ますよ!

